

北九州市議会議員

2012年
春号

No.13

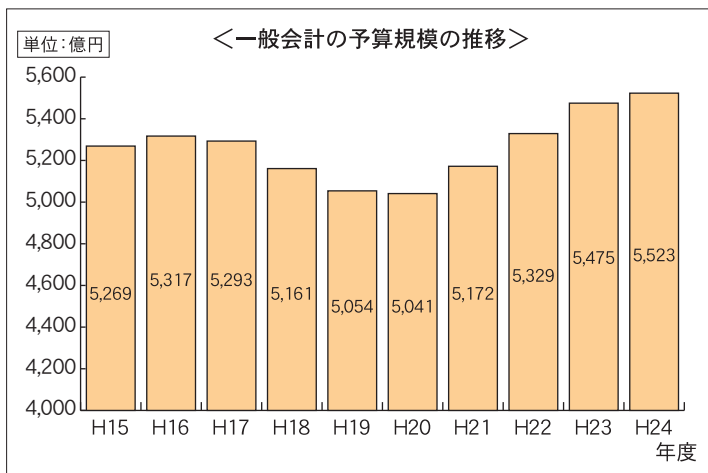
大久保むが
市政レポート

平成24年 2月議会 <環境未来都市創造元年予算>

<環境未来都市創造元年予算>

平成24年度の予算を審議する、2月定例会(2月23日～3月23日)が開催されました。

一般会計は総額5523億円でこの10年で最大規模になりました。



市は今年度予算を「環境未来都市創造元年予算」と銘打ち、事業の見直しや人件費の削減などで捻出した財源を、「グリーンアジア国際戦略総合特区」や市制50周年の記念事業などへ向けた新規事業などへ振り向けています。

歳入は市税1577億円で前年比13億円(0.8%)の減で、法人市民税は、東日本大震災の復興関連需要や、緩やかながらも景気を持ち直しの傾向があることから、対前年比10億円増の137億円、固定資産税や都市計画税では対前年比46億円減の810億円が見込まれています。

地方交付税は570億円で昨年と同額、また地方交付税の振り替えである臨時財対策債は今年度310億円を発行します。

市債は385億円を発行し、市債と臨時財対策債を併せた次年度の債権発行総額は695億円となり、この10年間で過去最高の発行となります。

北九州市経営プランの集中取り組み期間は平成22年で終了し、収支改善に一定の効果をあげましたが、引き続き手を緩めることなく改善を進めていかなければなりません。市は事務事業の見直しなどで46億円の収支改善に取り組む方針で、老朽化がすすむ橋梁や、建設から30数年が

経過した施設などの耐震改修など、将来のインフラの維持を行うための財源が確保されています。今後議会からも更なる効果があがるよう議論を深めて参ります。

<予算特別委員会>

本市の議会には6つの常任委員会があり、2月の予算議会、9月の決算議会ではこの常任委員会を2つずつ組み合わせ、計3つの特別委員会が編成されます。

私は予算特別委員会第一分科会に所属しております。予算特別第一分科会では総務市民局、財政局、市民文化スポーツ局や人事委員会、契約室、広報室などの総務財政委員会に關係する局と、建築消防委員会に属する建築都市局、消防局が加わり、より幅の広い質疑を行うこととなります。

消防局関連の質疑においては、平成24年度から導入に向けての準備が始まる、消防指令システムのデジタル化について質問しました。

消防指令システムは平成13年に導入され、現在に至っていますが、設備の老朽化が目立ち、さらに平成28年度までに導入が義務付けられている「消防救急無線のデジタル化」に伴うシステムの更新が行われるものです。

この更新スケジュールについて、更新における考え方やデジタル化に伴う組織の在り方に対して質疑を行い、一括更新におけるメリットやデメリットを明確にすることや、情報機器に関する人員について増強すべきである、との提言を行いました。

建築都市局関連での質疑においては、平成24年度から改修工事に着手する予定のコムシティについて、昨年12月議会において補正予算で承認されたコムシティの設計費が1億4,900万円で随意契約されたことについての経緯を質しました。

これについては当局から、設計期間が2カ月半であったことや、過去に設計に携わった業者で、コムシティの設備などに詳しい、などの説明がありましたが、市として今後長きに亘って利用する施設の設計を急ぐあまり、過去使にくいとされた施設を設計した業者へ設計を委託することには違和感があり、かつ巨額の随意契約について、議会に対しての報告が行われておらず、今後しっかり議会に対して報告を行うよう厳しく質しました。

「東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関する決議を採択

東日本大震災から1年が過ぎた3月12日、本市市議会では東日本大震災で亡くなられた方々に対してのご冥福を祈り、黙とうがささげられました。

大震災発災後、私も被災地を2度訪れ、現地の人たちや、行政、議員の方たちと話をする機会を得ました。その中で震災瓦礫の処理についても話があり、その処理は大きな課題のひとつであったことを記憶しています。

被害を受けた方々からしてみれば、積み上がったがれきからの異臭や、それを見るだけで当時のことを思い出す、さらにはこうしたがれきの自然発火などが度々起こるなど、地域住民の不安の種にもなっているとのことでした。

私たち北九州の市議会としてこうしたがれきについて、発災から1年を迎えながらも処理が進まない現状を考えた時に、大震災で生じたがれきが震災復興の妨げになっているとされるのであれば、一刻も早いその除去が必要であると考え、現状として現地で処理が進まずに他の地域での処理を求めているのであれば、同じ国民としてこれを放置してはならない、と考えました。

しかしながら、がれきの受け入れに関しては、福島で発生した原子力発電所事故に伴う放射性物質が付着しているのでは

ないかとの心配も考えられ、市民の不安もあるとは当然考えたうえで、本市で受け入れることができるのであれば、その体制を整えようとして受け入れることを求める決議を全会一致で行いました。

これに対して市長は、健康被害をはじめとする安全・安心面や風評被害に対するリスクを小さくしつつ、東北の復興に貢献するにはどうしたらよいかを早急かつ現実的に考え、行動する必要があると感じている。とし、専門家を交えて議論を進めていくと表明しました。

当然、放射に汚染されたがれきなどが誤って本市に入ってくるようなことがないように万全の態勢を整えるために、廃棄物の種類や運搬方法、最終処分の方法や放射線量の測定などについての方法を確立し、一方で市民の皆様に対して徹底した情報の公開を行うことは怠ってはなりません。市民の皆様のご理解をいただき、東日本大震災で被災された東北の一刻も早い復興に、本市として何ができるのか、これからも出来ることからしっかり取り組みをすすめていかねばならないと思います。

以下、「東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関する決議」の全文です。

議員提出議案第1号・東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関する決議

昨年3月11日、マグニチュード9.0という世界最大級の東日本大震災が発生し、東北地方を始め、東日本の広範囲にわたる地域が、地震とそれに続く津波により、我が国でかつてないほどの大きな被害を受けた。

これまで全国各地の多くの人々が、被災地の復旧と復興に向けて取り組んでおり、本市でも岩手県釜石市を中心に、区画整理や廃棄物処理の専門知識を有する職員を派遣するなど、様々な形で復旧と復興に向けた支援を進めてきた。

しかしながら、被災地の復旧と復興に向けて大きな障害となっているのが、膨大ながれきの処理である。岩手、宮城、福島3県では、約2,253万トンのがれきが発生し、1年経過した現在でも6%程度しか処理ができていない状況である。政府は処理が進まないがれきのうち、県内処理を国が決められている福島県を除く、岩手県の約11年分にあたる約476万トン、宮城県の約19年分にあたる約1,569万トンのうち401万トンについて広域処理をすることとし、全国の自治体に対して協力を呼びかけているが、受け入れが進んでいないのが実情である。

被災地の方々の苦悩を思うと、全国民の協力によるがれきの1日も早い処理が求められている。

がれきは、全国の自治体の協力がなければ、この先十数年そのままの状態となる。がれきの処理なくして被災地の真の復興はあり得ない。

よって、本市議会は、本市に対し、科学的な知見により放射能の影響を検証し、放射線量の測定等十分な体制を整えることを条件に、通常の廃棄物相当と判断されるものについて受け入れを表明することを要請する。

なお、受け入れに際し、岩手県及び宮城県のがれきについて情報を開示し、国及び本市が市民への説明責任を履行するとともに、本市において放射性物質濃度を国の基準以下にするなどの検討もあわせて要請する。

以上、決議する。

平成24年3月12日

北九州市議会

本年4月の石巻市内の様子



視察報告



日立柏スタジアム

日立柏スタジアムへ視察を行う事になったのは、昨年、ギラヴァンツの選手の方との懇親会で話をしているときに、選手として評価の高いスタジアムは？との問いに、「日立柏スタジアム」が一番に上がったことがきっかけでした。

日立柏スタジアムは、日立製作所の福利厚生施設としてあったグラウンドを活用した施設で、大変狭い土地の中に作らなければならなかったとのことでした。

そういう状況からか、スタジアム自体は非常に簡素に作ってあり、観客席とピッチまでの距離が近いこともあり、選手とサポーターが一体となることができるといふのだそうです。

生憎、私たちが視察に訪れた日は関東に大雪が降った日で、柏市へ向かうのも一苦勞で、スタジアムを見学した際には、芝の状態も見ることができないほど

雪が積もっており、このスタジアムの特徴であるピッチとスタンドの近さも、雪の影響で実感することができなかったのが心残りではありました。

スタジアム全体を見ての第一印象は、まさに簡素。メインスタンドに備えている屋根も簡素に作られており、それ以外のスタンドには屋根は設置されていませんでした。

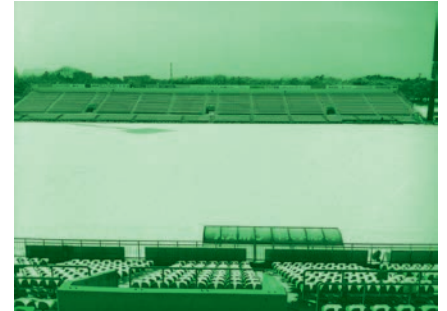
確かに、屋根があったほうが見る分には見やすいかもしれませんが、スタジアムで大事な事はピッチとの近さ、それにどのくらい傾斜があるのか、ということなのだそうです。

現在このスタジアムは改修中で、J2に優勝した翌年にJ1で優勝したこともあり、3000席のスタンドを増強していました。



Jリーグを中心とするサッカーという視点で見たときに、スタジアムを作る上で非常に重要な事は、スポンサーの事を考えて、いかに広告を置くスペースを確保するかだそうです。これはあくまで

も興行を行うチームとしての立場なのだそうですが、この日立柏スタジアムは柏レイソルが管理と運営を行っているとのことで、そういう意味では広告収入はチームの運営に直結するので、この広告スペースという言葉は非常に興味深いものがありました。



また、Jリーグで使用するにはマスコミ専用のブース、記者会見場など細かい規定をクリアしていなくてはならず、後に利用しやすいようよく考えて設計されていたほうが良いとのことでした。

本市の予定地の隣には国際会議場などもあり、そうした施設も活用すれば、コストを抑えることができるのではないかと考えられます。

今回の視察では、いかにお金をかけずに観客が見やすい環境を整える事ができるか、サポーターがいかに楽しめるものにするべきか、という視点で、スタジアムのあり方を改めて考えさせられるいい機会になりました。

平成24年 1・2・3月の活動記録

1月

- 4日 民主9区総支部常任幹事会
- 7日 陸上自衛隊小倉駐屯地新春賀詞交歓会
- 8日 北九州市社会福祉協議会新春福祉交流会
北九州市消防出初式
- 13日 北九州青年会議所新年祝賀会
- 14日 黒崎中央公園完成記念式典
党福岡県連団体交流委員会
- 17日 総務財政委員会
国際戦略総合特区説明会
- 18日 党福岡県連国民青年運動委員会
- 23~25日 千葉県柏市・東京都品川区視察
- 27日 市議会会派団会議
まちづくり成功事例セミナー
- 28日 ふるさとかるたボランティア
- 29日 ふるさとかるたボランティア
- 30日 総務財政委員会
永犬丸児童館視察

2月

- 2日 熊本県ゆるキャラ「クマもん」視察
- 3日 築地工業団地視察
- 4日 民主党福岡9区常任幹事会
- 5日 穴生少年野球クラブ卒団式
- 6日 市議会政策立案支援事業に係る講演会
- 7日 総務財政委員会

9日 市議会会派団会議

10日 北九州市表彰式
党県連国民青年運動委員会

15日 北九州市民スポーツ表彰式

17日 2月定例議会 勉強会
奥村直樹を囲む会

18日 国政・県政・市政報告会(陳原)
国政・県政・市政報告会(永犬丸西)

20日 2月定例議会 勉強会
民主党福岡9区総支部常任幹事会

23日 平成24年2月定例会 開会
市議会会派 勉強会

24日 市議会会派団会議
ポリテクビジョン講演会
党県連団体交流委員会

25日 国政・県政・市政報告会(浅川)
国政・県政・市政報告会(折尾西)

26日 北九州ドリームサミット発進フォーラム

28日 高見中学校視察
北九州中経協講演会
北九ネットまちづくり合同会社
創立記念祝賀会

3月

- 1日 市議会 本会議
- 4日 党県連国民青年運動委員会
ギラヴァンツ北九州ホーム開幕戦

5日 市議会 本会議

6日 市議会 本会議

7日 市議会 本会議

8日 市議会 常任委員会

9日 市議会 常任委員会

11日 合唱組曲「北九州」演奏会

12日 市議会 予算特別委員会

13日 市議会会派 政策審議会会議

市議会 予算特別委員会

14日 市議会 予算特別委員会

15日 市議会 予算特別委員会

16日 市議会 予算特別委員会

18日 党県連 統一街宣活動

19日 市議会 予算特別委員会 市長質疑

電子会議システムについての勉強会

20日 九州国際大学 卒業式

民主党福岡県第9区総支部常任幹事会

21日 市議会 常任委員会

折尾総合整備事業についての聞き取り

22日 市議会 予算特別委員会

八幡西区議員協議会

23日 市議会 本会議 閉会

24日 北九州市立大学 卒業式

25日 細野環境大臣 北九州入り

26日 民主党本部 住宅政策説明会

29日 党福岡県連議員団会議

30日 党福岡県連団体交流委員会

折尾地区総合整備事業

折尾地区総合整備事業は「折尾駅周辺連続立体交差事業」「折尾土地区画整理事業」「街路事業(道路)」の3つの事業からなり、折尾駅周辺の交通アクセスの向上と、土地利用の高度化などを目的に行われる事業です。

折尾駅周辺連続立体交差事業

折尾短絡線(鷹見口)を鹿児島本線と並行するように高架化、線路の切り替えが行われます。また筑豊本線も同様に鹿児島本線と上下にあったホームを高架化、全ての線路が並行に並ぶように改善されます。

折尾周辺に9か所ある踏切の廃止、そして慢性的な交通渋滞を解消するためのこれらの線路の高架化が図られます。



現在の状況



完成イメージ図

折尾土地区画整理事業

駅南側地区の住宅密集地を区画整理することで、これまで入ることができなかった緊急自動車などが入りやすいように整備が行われます。

また歩行者の安全が図られるよう歩道等を整備し、利便性の向上も図られます。

街路事業

駅北口広場を新設し、学園大通りや日吉台光明線の道路や歩道の拡幅を行い、駅周辺の交通環境を強化し、駅へのアクセスが向上されます。

<平成24年度のスケジュール>

駅北口広場の暫定的な整備が図られます。筑豊本線の高架化に着手(～平成28年迄)



<現在>



<将来>

キタQに 細我 夢中!!



No.13

エポリューション・ムガの巻



北九州市議会議員 大久保むが プロフィール



- 生年月日 昭和50年11月22日 現在36歳
- 血液型 A型
- 星座 さそり座
- 趣味 ピアノ ギター 釣り 映画鑑賞 など
- 身長 171cm
- 体重 73kg
- 好きな言葉 少年老い易く学成りがたし
- 好きな芸能人 山崎まさよし
- 尊敬する人 坂本龍馬
- 好きな食べ物 スパゲティ カレー(自分で作る)

経歴
 枝光小学校・枝光北中学校(現枝光台中学校)・県立北筑高等学校を卒業
 平成10年 九州国際大学 国際商学部 卒業
 平成12年 北橋健治衆議院議員秘書
 平成18年 北九州市立大学 法学研究科(大学院)入学
 平成19年 大久保勉参議院議員秘書
 平成20年 北九州市立大学 法学研究科 卒業

現在 民主党福岡県第九区総支部 常任幹事
 ボランティア団体 KID's work スタッフ

■大久保むが事務所



〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2
 Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531
<http://www.mugamuga.net/>
 E-mail yahatanishi@mugamuga.net

